

2024/2/14 中日

(第3種郵便物認可)

PFASと基地 考える

岐阜 テレビ番組「命ぬ水」上映



PFASの問題について意見を述べる登壇者たち＝岐阜市橋本町のハートフルスクエアGで

発がん性があると考えられる有機フッ素化合物（PFAS）と米軍基地の関わりを掘り下げたテレビ番組「命ぬ水」映し出された沖縄の50年を見て、各務原市三井東町の三井水

源地からPFASが検出された問題を考える集会在12日、岐阜市橋本町のハートフルスクエアGであった。「命ぬ水」は沖縄県で2022年に制作された。水

道水に使う川から高濃度のPFASが検出されたが、上流にある米軍基地への立ち入り調査は認められない現実を紹介。基地でPFASを含む泡消火剤を使う訓練が繰り返され、流出事故が相次いだ実態を報じた。

この日は番組上映後に、各務原市民らを対象にPFASの血液検査を実施した市民団体のメンバーらが登壇。「(同市の航空自衛隊)岐阜基地付近でPFAS濃度が高いが原因は特定されないままで」「汚染源を明らかにしないと水道水のろ過に膨大な費用がかかり続ける」「土壌に染み込んだPFASも除去しないと汚染は続く」と述べた。「戦争させない・9条壊すな!岐阜総がかり行動実行委員会」が開き、130人以上が参加した。

(川添智史)